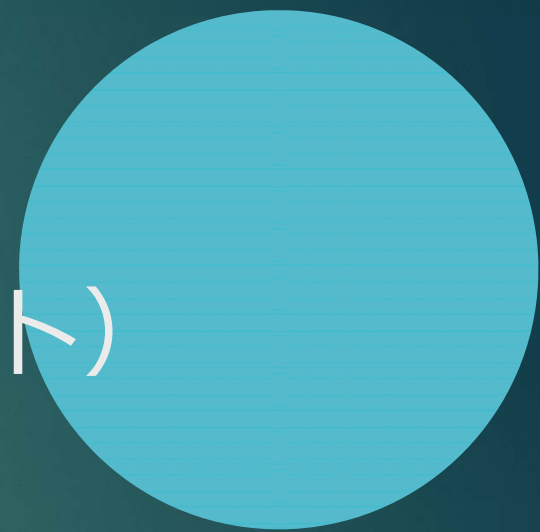


# 都市環境基盤特別講義 (社会基盤プロジェクト)



# 本日の授業スケジュール

- ▶ 授業概要説明（帯屋）
- ▶ 基調講義（石橋名誉教授）
- ▶ KJ法によるグループワーク



# 授業の到達目標及びテーマ

- ▶ 河川，道路，まちづくり（都市計画）など，国や地方公共団体が整備し管理する社会基盤について，立案，計画，発注，施工，維持管理等の一連のプロセスと法制度，およびこれらを効率的に運用するための考え方を学修する。
- ▶ 演習を通して，社会基盤整備の仕組みと課題を理解し，与えられたテーマに対して**解決策を見出すだけのアイデアを創出し提言できる**ようになることを到達目標とする。

# 授業の形式

- ▶ 授業は大別して第1回～第4回の「講演とグループワーク」および第5回～第12回のPBL（Project Based Learning）により構成する。
- ▶ それぞれが個人またはグループで自ら考え、情報を収集し、結論を導き出す。
- ▶ 金曜日午後の指定週で、90分1コマまたは2コマで、3校時、4日校時のコマを使って、合計15コマ。12月で終了。
- ▶ 4～5名のグループを編成する。各グループに、事務所または楠志会OBより専任アドバイザーがついて、グループワークを支援する。
- ▶ 佐賀国道事務所，武雄河川事務所，佐賀県都市計画課，楠志会の支援をいただく。

# 授業の進め方 1～4回

- ▶ 第1回はガイダンス（授業の進め方の説明）と石橋名誉教授の講義。
- ▶ 第2回～第4回にかけては、それぞれの1コマ目で各事務所または県庁から講義内容は、①事務所の紹介、②分掌業務の概要など。このなかで、業務における行政上あるいは技術上の課題（過去の例も含む）を5～6件（グループ数に対応して）挙げていただき、これをグループワークのテーマにつなげる。学生は、講義中、知らなかった専門用語、知っていたけど理解が曖昧だった専門用語（＝知るべき用語）の抽出作業を事前に配布の様式に従って行う。
- ▶ 第1回～第4回では、KJ法によるグループワークを行う。これにより、課題解決の方向性・アイデアを協議によって絞り出し、各グループ5分程度のプレゼンを行う。

# KJ法グループワークのシナリオ (4~5人1グループ)

1. グループはくじ引きで決める。→ 毎回違うメンバー
2. 各人で抽出した3つのキーワードをPCで調べ、受講シートに記入する。【15分】
3. グループ内で、各人が抽出したキーワードについて、「なぜそのキーワードが重要だと思ったのか？」について、一人ひとり説明する(3分)。順番は事前に決めておく。各人の発言のあと、質問タイム(2分)自分の次の人に質問する。【5分×5人=25分】
4. 各グループで、ディベート【20分】
  1. ポストイットに各人三つのキーワードを書き写し、広用紙の上でグルーピングする。
  2. 掘り下げたいテーマ「何故~なのか?」「~するためにはどうすればいいのか?」を一つ決める。講義内容に対する質問事項を列挙していくことによってテーマを絞り込むことができる。
  3. 個人で抽出したキーワードを、このテーマを中心に据えたキーワード群に再編する。
  4. 広用紙にテーマ名と「なぜこのテーマを選んだのか」「関連キーワード群」「このテーマに関する基礎知識は都市工の度の講義のどの部分に対応しているのか?」「このテーマを掘り下げ、明らかにするにはどのような方法が考えられるのか」などを書き出す。
5. グループプレゼンテーション。各グループで発言の役割分担をして発表する。【5分×グループ数】

# 第1回～4回のスケジュール

第1回(1コマ, 金3, 4) ガイダンス(帯屋)と趣旨説明および講義(石橋)

R1.10.4 講義の内容説明、履修意思確認、建設行政全般に関する講義

第2回(2コマ, 金3, 4): 講演: 河川行政の概要と課題(講師: 武雄河川事務所, 藤本所長)

R1.10.11 ディスカッションとグループ発表

第3回(2コマ, 水3, 4): 県におけるまちづくりの概要と課題(講師: 佐賀県都市計画課 宮崎課長)

R1.10.18 (水曜日4・5校時) ディスカッションとグループ発表

第4回(2コマ, 金3, 4): 講演: 講演: 道路行政の概要と課題(講師: 佐賀国道事務所, 小串所長)

R1.10.23 ディスカッションとグループ発表

# PBLテーマの割り振り（第5回）

- ▶ 第5回で、PBLのテーマを設定する。第2回～第4回でグループワークのテーマとなった課題のうち一つを**大テーマ**とし、その中でグループ内各人の個人テーマに細分化する。ただし、全体で偏りが無いように調整を行う。また、調査計画書を与えられた様式に従って作成する。
- ▶ 前半のグループとは無関係に、河川、道路、まちづくりの6グループに再編。人数によっては、各グループをさらに2つに分けて、4～5名のグループとする。→ ここからは**固定メンバー**
- ▶ 学生の希望を優先するが、おおむね6等分となるように調整する。
  - 河川グループ：大串、福山
  - 道路グループ：日野、吉田
  - まちグループ：猪八重、小野
  - 遊軍：帯屋



# 授業の進め方 5回目以降

- ▶ 第5回から第9回の間、各人またはグループで調査活動を実施し、この間、グループのアドバイザーから指導を受け、プレゼン資料作成を行う。追加調査が必要な場合は、アドバイザーと協議のうえ、調査計画を策定する。プレゼン資料とレジメを第8回授業の前日までに提出する。
- ▶ 各グループの学生はアドバイザーからの指摘事項に基づき、追加調査を行って、第8回授業で最終まとめとプレゼンの作成を行う。プレゼン資料とレジメ（調査報告書）を第10回授業の前日までに提出する。
- ▶ 第10回の授業で、一回目のプレゼンを行う。学生には質問シートが配布され、全てのプレゼンについて質問を書いて提出する。
- ▶ 第12回で最終プレゼンを実施する。全ての学生は他の学生のプレゼンに1回以上質問をしなければならない。質問と質疑応答内容に基づき様式に従ってレポート提出する。

# 第5回以降のスケジュール

第5回(1コマ, 金3) : PBLテーマの決定と調査計画書、調査ノート作成

R1.11.1

<週間課題 : 資料収集と調査活動>

第6回(1コマ, 金3) : 調査のまとめと資料の作成, 問題点の抽出, 各事務所に出向くことも・・・

R1.11.8

<週間課題 : 資料収集と調査活動 (追加) >

第7回 (3コマ, 金3) : 調査のまとめと資料の作成, 問題点の抽出, 各事務所に出向くことも・・・

R1.11.15

<週間課題 : 資料収集と調査活動 (追加) >

第8回 (3コマ, 金3) : 調査のまとめと資料の作成, 問題点の抽出, 各事務所に出向くことも・・・

R1.11.22

<週間課題 : 資料収集と調査活動 (追加) >

# 第5回以降のスケジュール

11

第9回(1コマ, 水6) : 企業セミナーへの参加と取材  
問題点の絞り込みとプレゼン作成, 各事務所に出向くことも・・・  
R1.11.27

**第10回(2コマ, 金3, 4) : 1回目プレゼン**  
R1.12.6

第11回(1コマ, 金3) : 内容の精査と修正作業  
R1.12.13

**第12回(2コマ, 金3, 4) : 最終プレゼン**  
R1.12.20



## 成績評価 以下の3つにより評価する

12

- ▶ 第1回から第4回にかけての提出物とプレゼンテーション (30%)
- ▶ PBL演習の調査報告書 (別途書式を示す) (30%)
- ▶ 最終プレゼンテーションにおけるルーブリック評価 (40%)

# アドバイザーとゲスト講師の紹介

13

## ▶ 今日のゲスト講師：

▶ 石橋孝治 名誉教授（前学部長）

## ▶ アドバイザー：

▶ 小野龍太 名村造船所

▶ 福山龍一 牟田建設

▶ 吉田恭一 セントラルコンサルタント

